

新舞子への入口に 通行止めの建札

四倉署活動開始し
區長以下續々召喚さる

石城郡草野村地内國道から

新舞子に至る六十枚部落

道路の

入口に突然

「自動車の通行を禁す」との
建札が六十枚區長の名を以

つて出現した、是れが爲め

自動車の通行は全く杜絶し

從つて新舞子への遊覧客は

方向を轉じて四倉海岸に向

ふ状態となり、遊覧客當て

道路を損壊せらるゝ結果

張つた飲食店や商人達は大

恐惶を來すに至つた、右建

札は自動車の往復に依つて

道路を損壊せらるゝ結果

もとのと表面は至極尤もらし

い理由に

なつて居る

客に振られたとして 酌婦が自殺を圖る

泥酔狂態を演して
クレゾール液を飲下す

石城郡小名濱町字中の坪飲

食店酒井セン方酌婦伊達郡

飯野村生れ菅野マサ(三)は

昨夜登樓客二名の相手とな

つて呑めよ唄への

大騒ぎを演じて居た

が其内に泥酔し其場に在る

ものを取つて投げる等の狂

液を多量に嚥下し自殺を圖

る

小名濱日當減 石城

郡小名濱漁業組合にては十

四日役員會を開き船大工其

他從業員の日當一割五分減

を決議した。

が一方自動車協會を威嚇し

て某しかの金を握るの一手

である等と忌しき噂るもの

ある、今や日本百景の一つ

として満天下に廣く同地を

紹介すべき際に當り勝手に

公道の 通行止めを

爲すが如きは警察權に立入

つた暴舉であるから徹底的

に是れを處分せねばならぬ

と前記建札を直ちに撤去せ

しめて自動車の交通に便な

らしむると共に

田驛から同十三俵で乾燥は

不充分であつたと伺は是れ

たと。

が小作人は八十四名であつ

たと。

平町の鳥肉販賣業は今回協

議の結果値下断行を決定し

十七日より左記の如く値段

を變更する事となつたが何

れも殆んど從前の半額であ

る

四倉署に召喚嚴重取調中で

ある。

小名濱日當減 石城

郡養蠶同業組合にては全國

的に同業者が慘憺たる悲境

に遭遇して居るので之れが

打開策として經營、飼育量

良爾產出、繭販賣の方法、

桑園の整理、自給肥料の使

用等に關する宣傳ビラ一萬

枚を印刷し各村同業者に配

附したと。

ビール麥 出荷

乾燥が不充分

し今晩二時半頃便所に這入

つて戸を密閉し

平興業界

の結果甲種合格五十三名と

出したので大騒ぎとなり醫

師の應急手當を受けしめ漸

く一命を取り止め矢部警部

補檢視を逐ぐ。

少年剣道試合

既報平警察署の少年剣道納

二補充兵に編入されて現役

を免除された

滿口昌二、酒井亥一、鈴

木壽丸、室越鶴次郎、中

田政夫、海老根菅郎、谷

田部喜藏、小松榮橋武、

大塚茂、星喜三郎、伊藤

吉太郎、藤田文夫、原野

市五郎、猪狩喜一、采榮

橋五郎

小名濱日當減 石城

郡小名濱漁業組合にては十

四日役員會を開き船大工其

他從業員の日當一割五分減

を決議した。

が一方自動車協會を威嚇し

て某しかの金を握るの一手

である等と忌しき噂るもの

ある、今や日本百景の一つ

として満天下に廣く同地を

紹介すべき際に當り勝手に

公道の 通行止めを

爲すが如きは警察權に立入

つた暴舉であるから徹底的

に是れを處分せねばならぬ

と前記建札を直ちに撤去せ

しめて自動車の交通に便な

らしむると共に

田驛から同十三俵で乾燥は

不充分であつたと伺は是れ

たと。

が小作人は八十四名であつ

たと。

平町の鳥肉販賣業は今回協

議の結果値下断行を決定し

十七日より左記の如く値段

を變更する事となつたが何

れも殆んど從前の半額であ

る

四倉署に召喚嚴重取調中で

ある。

小名濱日當減 石城

郡養蠶同業組合にては全國

的に同業者が慘憺たる悲境

に遭遇して居るので之れが

打開策として經營、飼育量

良爾產出、繭販賣の方法、

桑園の整理、自給肥料の使

用等に關する宣傳ビラ一萬

枚を印刷し各村同業者に配

附したと。

ビール麥 出荷

乾燥が不充分

し今晩二時半頃便所に這入

つて戸を密閉し

平興業界

の結果甲種合格五十三名と

出したので大騒ぎとなり醫

師の應急手當を受けしめ漸

く一命を取り止め矢部警部

補檢視を逐ぐ。

少年剣道試合

既報平警察署の少年剣道納

二補充兵に編入されて現役

を免除された

滿口昌二、酒井亥一、鈴

木壽丸、室越鶴次郎、中

田政夫、海老根菅郎、谷

田部喜藏、小松榮橋武、

大塚茂、星喜三郎、伊藤

吉太郎、藤田文夫、原野

市五郎、猪狩喜一、采榮

橋五郎

小名濱日當減 石城

郡小名濱漁業組合にては十

四日役員會を開き船大工其

他從業員の日當一割五分減

を決議した。

が一方自動車協會を威嚇し

て某しかの金を握るの一手

である等と忌しき噂るもの

ある、今や日本百景の一つ

として満天下に廣く同地を

紹介すべき際に當り勝手に

公道の 通行止めを

爲すが如きは警察權に立入

つた暴舉であるから徹底的

に是れを處分せねばならぬ

と前記建札を直ちに撤去せ

しめて自動車の交通に便な

らしむると共に

田驛から同十三俵で乾燥は</

銘酒
乃
良
瓶
詰

景品付賣出

一、景品 東京日本橋 白木屋 化粧石鹼

一、期間 昭和五年十月卅一日迄
一、升瓶詰一本 [一、二〇] 每に一個宛進呈
○空瓶は二本二十錢に御引受け致します

市販賣店

平町新川町 谷口商店
同 材木町 緑川酒店
同 長橋町橋際 小野商店

平町以外各町村一店宛特約販賣の求めに應ず

發賣元 平町田町 永山酒店

電話二〇七番

東洋趣味の粹として近代日本を壓倒して居る麻雀の俱樂部が平町に生れました支那の本場を偲ばしめる高雅な設備一切は整ひ三日早朝より開店し皆様の御出を御待ちして居ります。麻雀を知らぬ是非御遊びに御出でくださる様御願いたします。初めの方や御婦人方には丁寧に御教へいたします。

平驛前 (實川醫院裏)
平麻雀俱樂部

外科内臓外科
耳鼻咽喉科
産婦人科
山 村 醫 院
福島縣浪江町
電話一一四番

理想的耐水耐熱接合剤
キシング・ペースト
○水か微温湯で溶せばすぐ
使へる簡単な膠着剤
一名コナニカワ
果著

小野屋藥店
電話一四四番

賞品御寄贈各位

八月七日弓道大會
八月九日將棋會
八月十六日シマミ取競争
八月十七日花角力
八月廿四日寶探し

新舞子海岸
みとや支店
營業主 安初吉

五種の休憩計画
大舞子

各種催し賞品○贈御禮

弊店儀主催の許に新舞子遊覽客の餘興として左記各種會合開催するに當り御贊助の意味に依り多大の景品御寄贈被下難有

御禮申上候

八月七日弓道大會

新舞子海岸
みとや支店
營業主 安初吉

執筆者 倉長理學士 木村和誠氏 理學博士 大島正満氏

理學博士 小泉丹氏 水產講習所妹尾秀實氏

農學博士 内田清之助氏

農學博士 中澤毅一氏 総合編纂擔當大島正満氏

總務課研究員 長澤學士 木村和誠氏

總務課研究員 長澤學士 木村和誠氏</p